

令和3年第3回防府市議会定例会会議録（その3）

○令和3年6月29日（火曜日）

○議事日程

令和3年6月29日（火曜日） 午前10時 開議

- 1 開 議
 - 2 会議録署名議員の指名
 - 3 議案第43号 令和3年度防府市一般会計補正予算（第2号）
(予算委員会委員長報告)
 - 4 常任委員会の閉会中の継続調査について
-

○本日の会議に付した事件

目次に記載したとおり

○出席議員（25名）

1番	橋本龍太郎君	2番	牛見航君
3番	梅本洋平君	4番	河村孝君
5番	清水力志君	6番	和田敏明君
7番	今津誠一君	8番	村木正弘君
9番	久保潤爾君	10番	吉村祐太郎君
11番	曾我好則君	12番	宇多村史朗君
13番	藤村こずえ君	14番	青木明夫君
15番	田中敏靖君	16番	松村学君
17番	高砂朋子君	18番	山田耕治君
19番	三原昭治君	20番	田中健次君
21番	森重豊君	22番	石田卓成君
23番	安村政治君	24番	河杉憲二君
25番	上田和夫君		

○欠席議員

なし

○説明のため出席した者

市	長	池田	豊君	副	市	長	森重	豊君																				
教	育	長	江山	稔君	代	表	監	査	委	員	末	吉	正	幸	君													
上	下	水	道	事	業	管	理	者	河	内	政	昭	君	総	務	部	長	熊	野	博	之	君						
人	事	課	長	松	村	訓	規	君	総	合	政	策	部	長	石	丸	泰	三	君									
地	域	交	流	部	長	能	野	英	人	君	生	活	環	境	部	長	入	江	裕	司	君							
健	康	福	祉	部	長	藤	井	隆	君	産	業	振	興	部	長	白	井	智	浩	君								
土	木	都	市	建	設	部	長	石	光	徹	君	入	札	検	査	室	長	山	根	淳	子	君						
会	計	管	理	者	寺	畑	俊	孝	君	農	業	委	員	会	事	務	局	長	國	本	勝	也	君					
監	査	委	員	事	務	局	長	田	中	洋	子	君	選	挙	管	理	委	員	会	事	務	局	長	森	田	俊	治	君
消	防	長	米	本	静	雄	君	教	育	部	長	杉	江	純	一	君												

○事務局職員出席者

議 会 事 務 局 長 藤 井 一 郎 君 議 会 事 務 局 次 長 廣 中 敬 子 君

午前10時 開議

○議長（上田 和夫君） 定足数に達しておりますので、これより本日の会議を開きます。

会議録署名議員の指名

○議長（上田 和夫君） 本日の会議録署名議員を御指名申し上げます。13番、藤村議員、14番、青木議員、御兩名にお願い申し上げます。

議事日程につきましては、お手元に配付しております日程に基づいて進行したいと思いますので、よろしく御協力のほどお願い申し上げます。

議案第43号令和3年度防府市一般会計補正予算（第2号）

（予算委員会委員長報告）

○議長（上田 和夫君） 議案第43号を議題といたします。

本案については、予算委員会に付託されておりましたので、予算委員長の報告を求めます。高砂予算委員長。

〔予算委員長 高砂 朋子君 登壇〕

○17番（高砂 朋子君） さきの本会議におきまして、予算委員会に付託となりました

議案第43号令和3年度防府市一般会計補正予算（第2号）につきまして、去る6月22日に委員会を開催し、審査いたしましたので、その経緯と結果について御報告申し上げます。

審査の過程における主な質疑等でございますが、財政調整基金について、「このたび5億5,600万円を取り崩すことで残高は幾らになるのか」との質疑に対し、「財政調整基金の残高につきましては、総合計画に掲げておりますとおり、決算時には20億円以上を確保できると見込んでおります」との答弁がございました。

次に、新型コロナウイルス生活応援事業について、「商品券を配布する対象世帯数はどれくらいを想定しているのか。また、どのような方法で配布されるのか」との質疑に対し、「対象世帯数は全体で1万5,000世帯を見込んでおり、配布の方法は、該当の方には市から御案内し、申請から商品券配布までを郵送で行うことを考えております」との答弁がございました。これに対し、「経済的に困窮されている方も多いため、丁寧に対応していただきたい」との要望がございました。

次に、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業について、「ワクチンを接種すると、若い人ほど高熱が出ると聞いている。教育委員会ではそのあたりについて、どのように考えているのか」との質疑に対し、「担当課ともしっかり情報共有しながら、情報収集に努めてまいりたいと考えております。体のサポートと心のサポートができるよう、保護者としっかり連携を取りながら、学校の出席停止等の扱いを丁寧に進めていきたいと思っております」との答弁がありました。これに対し、「子どもも保護者も不安だと思うので、先生との相談体制等をしっかり確立していただきたい」との要望がありました。

次に、緊急支援対策事業について、「飲食店等への激励金の支給要件を教えてください」との質疑に対し、「それぞれの業種に関する営業許可等の写しの提出を求めることとしております」との答弁がございました。

また、「対象が一部の業種に偏ってしまうため、業種を限定せず、例えば要件を、売上げが昨年度と比較して30%以上減少している事業者などとすることはできなかったのか」との質疑があり、「市として外出自粛をお願いしたことによって、直接的な影響を受けている業種に対しての激励金ということで考えております」との答弁がございました。

次に、プレミアム付商品券発行事業について、「商品券12枚のうち10枚はどこでも使用可能で、プレミアム分の2枚については、中小規模店でのみ使用できるということでしょうか」との質疑に対し、「12枚のうち2枚は、店舗面積が500平米未満の中小規模店でのみ使用できる専用券とすることとしております」との答弁がございました。

また、「防府の経済を盛り上げるためにも、積極的に中小規模店で商品券を使用してい

ただけるよう、しっかりとPRをしていただきたい」との要望がございました。

審査を尽くしたところで、本案の承認についてお諮りいたしましたところ、全員異議なく、原案のとおり承認した次第でございます。

以上、御報告申し上げますので、よろしく御審議のほどお願い申し上げます。

○議長（上田 和夫君） ただいまの委員長報告に対する質疑を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 質疑を終結して討論を求めます。6番、和田議員。

○6番（和田 敏明君） 議案第43号令和3年度防府市一般会計補正予算（第2号）に、会派「改革」として賛成の立場で討論いたします。

まず、このたびの補正予算には、国の新型コロナウイルス感染症対策や、生活困窮者支援に加えて、本市独自の地域経済対策や生活応援事業等が含まれており、会派として賛成すべきとの結論に達しました。

さて、新型コロナウイルス感染症発生から約一年半以上が経過いたしました。その間、特に地域経済対策においては、これまでの定例議会等でも何度も要望し続けてきたことが反映に至っておらず、見直すべきと考える事業が何点か含まれております。そこで、賛成討論に交えて改めて見直すべきと考える点について、意見と要望を述べさせていただきます。

最初に、歳入の19款寄附金、1項寄附金、3目まち・ひと・しごと創生寄附金及び歳出の10款教育費、1項教育総務費のICT教育推進事業にも関わってきますので、併せて申し上げますが、このたびマックスバリュ西日本さんより頂いた多額の御寄附により、ロボット20台を購入し、プログラミング教育に生かせることは、本市が推奨しているものづくりや物理などの学習に興味を持って、論理的思考力の向上等にもつながることが期待できます。マックスバリュ西日本さんに心より感謝申し上げます。

次に、歳出の7款商工費、1項商工費、2目商工振興費の緊急支援対策事業ですが、長引く新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者への激励金の支給については、対象者が飲食店、タクシー代行業、旅行業、宿泊業、貸切りバスの事業者に限定されております。

会派としては、過去に同様の事業が予算計上された際にも、委員会や討論において強く要望してまいりましたが、提案理由どおり、長引く新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者であれば、全てを対象とするべきではないでしょうか。それこそが平等と思われれます。

ちなみに県では、中小企業の事業継続のための支援給付金事業が行われますが、こちら

はコロナが原因で売上げが30%以上減少した場合は、全ての事業者に対し補助されます。まさに平等であり、このような考え方こそ県に倣っていただきたい。

また、補助対象事業者を限定したため、コロナの影響を受けた市内在住の方でも対象事業者から外れた場合、補助を受けられないのに対し、なぜか市外に在住の方でも防府市に事業所を置き、対象事業に該当すれば補助が受けられることはいかかなもののでしょうか。この事業は本市の単独予算であり、その負担は市民です。同じコロナで打撃を受けた事業者でありながら、他市に居住される方々が補助対象となり、市民が対象外となるなど、絶対にあってはなりません。防府市民にとって平等であり、困っている防府市民に対し、手を差し伸べていただきますよう、改めて強く要望いたします。

同じく2目商工振興費のプレミアム付商品券発行事業ですが、この事業については、過去の要望等が多少反映されたのか、12枚1セットのうち、2枚までは利用できる店舗を市内の中小規模店に限定されますが、提案理由どおり市内経済を活性化させるためには、利用できる店舗を市内に本社を置く事業者に限定しなければ、本来の目的とする状況にはなり得ないと思います。改めて強く要望いたします。

また、貸付け、融資等の事業も含まれておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響はまだまだ長く続いてくるといふふうに思っております。そういった中で、今までも貸付けを利用された事業者の方々は先行きが見えない中で、どんどん借金が膨らんできているような状況にもあります。これからも、やはり議会と執行部とが一丸となって、このコロナに対して立ち向かっていかなければ、本当の意味で市民の生活を守ることはできないと思います。このことを申し述べて賛成の討論といたします。

○議長（上田 和夫君） 22番、石田議員。

○22番（石田 卓成君） 議案第43号令和3年度防府市一般会計補正予算（第2号）について、会派「敬天会」として賛成の立場で討論させていただきます。

まず、プレミアム付商品券発行事業につきましては、過去に、大型店舗で大体3分の2ぐらい使用されているということをお聞きしましたので、今回、議会の要望どおり専用券を入れてくださったことを非常にうれしく思っております。今後、使用状況等をしっかり見ていただきながら、また次の機会に、これを生かしていただければと思います。

そして、次に、飲食店等への激励金でございますが、本当に今、飲食業を中心に困っておられる方が多くて、いつになったらこれ入るんかって私の元にもよく問合せが入ります。取りあえず議会通らんと、振り込まれることはないからと言っているんですけど。

執行部のほうも今朝お聞きしたところ、一日でも早くお振込みできるように頑張りたいということだったので、議会が終わったらすぐ動いてくださるようでございます。

一部に、市内に住んでいない事業者に激励金を支払うのがいがかかという声もありましたが、うちの会派としては、そういった事業者の皆様も感染症対策そして感染症の抑え込みには最大限の協力をしてくださっているわけですし、常日頃から防府の活性化にも寄与してくださっていると、そういうわけですので、絶対支払うべきだと思っております。

最後に、がんばる事業者応援補助金でございますが、これ本当に、非常に評判がよくて、そのため増額補正されたものだと思います。これもお聞きしたところ、昨年6月補正でやった地域産業促進事業費補助金、このときは410件の申請だったんですけど、今回850件もいっているということで、非常に市内の事業者の皆様には喜んでいただいているんじゃないかなと思っております。実際にそういう声も届いております。

そして、今回この場を借りてお礼申し上げたいのが、商工会議所とか、あと、中小企業サポートセンターCONNECT22、これらの職員さんが事業者の相談に事業者の立場に立って本当に懇切丁寧にその申請書の書き方とか、そのサポートをすごくよくしてくださっているということで、そういう喜びの声も何件か届いております。本当にみんなが一丸となって、この危機を乗り越えていければと思っております。

以上、会派「敬天会」として、賛成の立場で討論させていただきました。

○議長（上田 和夫君） 16番、松村議員。

○16番（松村 学君） 議案第43号令和3年度補正予算（第2号）に、「防府一番」は賛成の立場で討論をいたします。

このたびの補正予算は、特に4月下旬より本市で猛威を振るったコロナによって被害を受けた本市経済を立て直すため、緊急かつ重要な予算となっております。

まず、市民や飲食店を中心に悲痛の叫びの声が毎日何件も寄せられる中、細やかにスピード感を持って執行部の皆様聞き届け、反映していただき、誠に感謝申し上げます。

あとは、明日をも知れぬ今回のコロナで被害を受けた皆様をできるだけ早く救済できるよう、素早い執行となるよう強く要望いたします。

また、このコロナ禍でオリンピック開催となり、大変残念なことです。本市はセルビア女子バレーボールチームのホストタウンになっており、ニコラ・テスラ展、セルビア給食、佐波サヴァ交流や、セルビアスモモの植栽など、多岐にわたる交流事業を行ってきました。

このたびがまさに集大成となります。セルビアが金メダルとなるよう市を挙げて全力で応援したいところですが、このコロナ禍でございます。選手をはじめ関係者、市民が安全に応援できますよう市の特段の御配慮をお願いし、賛成討論といたします。

以上です。

○議長（上田 和夫君） ほかにございますか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 討論を終結してお諮りいたします。

本案については委員長の報告のとおり、これを可決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 御異議ないものと認めます。よって、議案第43号については、原案のとおり可決されました。

常任委員会の閉会中の継続調査について

○議長（上田 和夫君） 次に、常任委員会の閉会中の継続調査についてをお諮りいたします。

各常任委員長から、委員会において調査中の所管事務について、防府市議会会議規則第108条の規定により、お手元に配付いたしております申出書のとおり、閉会中の継続調査の申し出がありました。

各常任委員長からの申し出のとおり、閉会中の継続調査に付することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 御異議ないものと認めます。よって、各常任委員長からの申出のとおり、閉会中の継続調査に付することに決しました。

○議長（上田 和夫君） 以上で、今期定例会に付議されました案件は全て議了いたしました。

これもちまして、令和3年第3回防府市議会定例会を閉会いたします。

長時間にわたり、慎重な御審議をいただきありがとうございました。お疲れさまでした。

午前10時18分 閉会

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

令和3年6月29日

防府市議会議長

上 田 和 夫

防府市議会議員

藤 村 こずえ

防府市議会議員

青 木 明 夫